

Cisco Unified IP Phone の設定 値の設定

Cisco Unified IP Phone には設定が数多くあるため、ユーザが電話機の利用を開始する前に、システム管理者がその設定作業を終えておく必要があります。電話機のメニューから、これらの設定にアクセスして、数多くの設定を変更できます。

この章は、次の項で構成されています。

- Cisco Unified IP Phone の設定メニュー (P.4-2)
- 設定メニューの表示 (P.4-3)
- オプションのロックとロック解除 (P.4-4)
- 設定値の編集(P.4-6)

- Localization $\forall = \exists \neg (P.4-21)$
- XML URLs メニュー (P.4-24)

OL-8152-01-J

Cisco Unified IP Phone の設定メニュー

Cisco Unified IP Phone 7960G/7940G には、次の設定メニューが用意されています。

- Network Configuration メニュー (P.4-7): さまざまなネットワーク設定値を表示および設定するためのオプションがあります。
- SIP Configuration メニュー (P.4-16): 電話機上の設定可能な回線パラメータ および SIP パラメータに関連する情報を表示します。
- Localization メニュー (P.4-21):電話機に時刻、日付、時間帯、およびオプションのパラメータを設定できます。また、SNTP 設定にアクセスできます。
- XML URLs メニュー (P.4-24):電話機でサービスおよびディレクトリの取得元となるサーバの URL を表示します。
- Security Configuration メニュー (P.4-25): 電話機の設定ファイルを暗号化するキーを入力できます。

設定メニューの表示

設定メニューを表示するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ1 設定ボタンを押して、Settings メニューにアクセスします。

ステップ2 次のいずれかの操作を行って、必要な設定メニューを表示します。

- **ナビゲーション** ボタンを使用して必要なメニューを選択してから、**Select** ソフトキーを押します。
- 電話機のキーパッドを使用して、メニューに対応する番号を入力します。

Settings メニューまたはサブメニューを終了するには、Exit ソフトキーを押します。



(注)

Cisco Unified CallManager の管理ページの [電話の設定 (Phone Configuration)] ページにある Settings Access フィールドを使用することにより、電話機から Settings メニューやこのメニューのオプションにアクセスできるかどうかを制 御できます。Settings Access フィールドに設定できる値は、次のとおりです。

- 有効: Settings メニューへのアクセスを許可します。
- 無効: Settings メニューへのアクセスを禁止します。
- 非許可: User Preferences メニューへのアクセスを許可し、音量の設定変更の 保存を許可します。Settings メニューの他のオプションへのアクセスを禁止 します。

Settings メニューのオプションにアクセスできない場合は、Settings Access フィールドを確認してください。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

関連項目

- オプションのロックとロック解除(P.4-4)
- 設定値の編集(P.4-6)
- Network Configuration オプションの概要 (P.4-7)
- Network Configuration $\angle = = = (P.4-7)$

オプションのロックとロック解除

電話機から変更できる設定オプションは、デフォルトでロックされています。これは、ユーザが電話機の操作に影響を与える変更を行えないようにするためです。設定オプションを変更するには、事前にロックを解除しておく必要があります。

オプションが変更できなくなっている場合は、ロックされた鍵のアイコン ♪ が設定メニューに表示されます。オプションのロックが解除され、変更できるようになっている場合、このメニューには次のようなロックを解除された鍵のアイコン ♪ が表示されます。

オプションをロックまたはロック解除するには、次の手順を実行します。

始める前に

電話機固有の設定ファイルで、phone_password パラメータを使用して電話パスワードを設定します。

手順

ステップ1 電話機をロック解除するには、次の操作を行います。

- **a. 設定**ボタンを押し、Unlock Config を選択します。パスワード プロンプトが表示されます。
- b. 電話パスワードを入力します。電話機がロック解除され、LCD にロック解除のアイコンが表示されます。

パスワードの入力方法については、P.4-6の「設定値の編集」を参照してください。



Unlock Config メニューオプションが Lock Config に変わります。Lock Config が表示されている間は設定がロック解除されたままです。設定メニューを終了すると、設定が自動的に再度ロックされます。

ステップ2 電話機を再度ロックするには、Lock Config を選択するか、Back ソフトキーを押します。

関連項目

- オプションのロックとロック解除 (P.4-4)
- 設定値の編集 (P.4-6)
- Network Configuration オプションの概要 (P.4-7)
- SIP Configuration $\neq = = = (P.4-16)$

設定値の編集

設定メニューのオプションの設定値を編集する場合、またはパスワードを入力す る場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 数字や文字を入力するには、電話機のキーパッドのキーを使用する。
- 数字と文字を入力できる場合は、Number と Alpha の間で切り替わるソフト キーが使用可能になる。数字を入力するには Number ソフトキーを押し、文 字を入力するには Alpha ソフトキーを押します。
- キーパッドを使用して文字を入力するには、対応する番号キーを使用する。 番号キーを1回または複数回押すと、特定の文字が表示されます。たとえ ば、「a」を入力するには、番号キーの2を1回押します。「b」を入力するに は2回、「c」を入力するには3回すばやく押します。少し間を置くと、カー ソルが次の文字を入力する位置に自動的に移動します。
- (たとえば IP アドレスなどで)ピリオドを入力するには、.(ピリオド)ソフ トキーを押す。
- カーソルを 1 文字右に移動するには、>> ソフトキーを押す。カーソルを 1 文字左に移動するには、<< ソフトキーを押します。
- 入力内容を修正する場合は、<-- ソフトキーを押して、カーソルの左側の文 字を削除する。
- 変更内容を保存しない場合は、Save ソフトキーや Accept ソフトキーを押す 前に、Cancel ソフトキーを押す。



Cisco Unified IP Phone では、必要に応じて、オプション設定のリセットや復元に 使用できる方法がいくつか用意されています。詳細については、P.7-19の「Cisco Unified IP Phone のリセットまたは復元」を参照してください。

関連項目

- 設定メニューの表示 (P.4-3)
- オプションのロックとロック解除(P.4-4)
- Network Configuration オプションの概要 (P.4-7)
- Network Configuration メニュー (P.4-7)
- SIP Configuration $\angle = = = (P.4-16)$

Network Configuration メニュー

Network Configuration メニューには、さまざまなネットワーク設定値を表示および設定するためのオプションがあります。

Network Configuration メニューの表示方法については、P.4-3 の「設定メニューの表示」を参照してください。

関連項目

- 設定メニューの表示 (P.4-3)
- Network Configuration メニューのオプションの表示と編集 (P.4-8)

Network Configuration オプションの概要

電話機の Network Configuration メニューで変更できる設定は、表 4-1 で示すとおり、いくつかのカテゴリに分かれています。各設定の詳細な説明や変更方法については、P.4-7 の「Network Configuration メニュー」を参照してください。



Network Configuration メニューには、表示専用のオプションもあれば、Cisco Unified CallManager を使用して設定できるオプションもあります。これらのオプションについても、P.4-7 の「Network Configuration メニュー」を参照してください

表 4-1 Network Configuration メニューのオプションのカテゴリ

カテゴリ		Network Configuration メニューのオプション
DHCP 設定	DHCP(ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プ	DHCP Enabled
	ロトコル)を使用している場合、ネットワークにデバイ	DHCP Address Released
	スを接続すると、デバイスの IP アドレスが自動的に割り	
	当てられます。Cisco Unified IP Phone では、DHCP がデ	
	フォルトで有効になっています。	

カテゴリ	説明	Network Configuration メニューのオプション
IP 設定	ネットワークで DHCP を使用しない場合は、IP 設定を手	IP Address
	動で行います。	Default Router 1 \sim 5
		Subnet Mask
		Domain Name
		DNS Server 1 \sim 5
ポート設定	ネットワーク ポートやアクセス ポートの速度と全二重 /	SW Port Configuration
	半二重の設定を変更できます。	PC Port Configuration
TFTP 設定	電話機から TFTP サーバへの送信に DHCP を使用しない	TFTP Server 1
	場合は、TFTP サーバを手動で割り当てる必要がありま	Alternate TFTP Server
	す。また、DHCPで割り当てられたものを使用しないで、	TFTP Server 2
	代替 TFTP サーバを割り当てることもできます。	
VLAN 設定	電話機で使用される管理 VLAN を変更できます。	Admin.VLAN ID

関連項目

- 設定メニューの表示 (P.4-3)
- オプションのロックとロック解除 (P.4-4)
- 設定値の編集 (P.4-6)
- Network Configuration $\nearrow = = = (P.4-7)$

Network Configuration メニューのオプションの表示と編集

表 4-2 では、Network Configuration メニューのオプションとその変更方法(可能な場合)について説明しています。

このメニューのオプションを変更する前に、オプションのロックを解除しておく必要があります。詳細については、P.4-4の「オプションのロックとロック解除」を参照してください。オプションのロックが解除されている場合に限り、ネットワークの設定オプションを変更するための Edit、Yes、または No というソフトキーが Cisco Unified IP Phone 7960G/7940G に表示されます。

オプションの編集に使用できるキーについては、P.4-6の「設定値の編集」を参照してください。

オプション	説明	変更方法
DHCP Server	電話機の IP アドレスの取得に使用される DHCP (ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル) サーバの IP アドレスを表示します。	表示専用(設定不可)
MAC Address	電話機の固有な MAC (メディア アクセス制御) アドレスを表示します。	表示専用(設定不可)
Host Name	電話機に割り当てられた DHCP サーバの固有なホスト名を表示します。	表示専用(設定不可)
Domain Name	電話機が存在する DNS (ドメイン ネーム システム) の名前を表示します。Alternate Domain オプションが Yes に設定されている場合は、この値を上書きできます。	表示専用(設定不可)
IP Address	電話機のIP (インターネットプロトコル) アドレスを表示します。 このオプションを使用してIP アドレスを割り当てる場合は、サブネットマスクとデフォルトルータも割り当てる必要があります。表中のSubnet Mask オプションと Default Router オプションを参照してください。	表示専用(設定不可)
Subnet Mask	電話機で使用されるサブネットマスクを表示します。	表示専用(設定不可)

オプション	説明	変更方法	
TFTP Server	電話機で使用されるプライマリ TFTP(トリビアルファイル転送プロトコル) サーバを表示します。ネットワークで DHCP を使用していない場合、このサーバを変更するには、このオプションを使用する必要があります。	表示専用	(設定不可)
	Alternate TFTP オプションを Yes に設定した場合、TFTP Server 1 オプションには 0 以外の値を入力する必要があります。		
	プライマリ TFTP サーバが CTL ファイルに記述されていない場合は、TFTP Server 1 オプションの変更内容を保存する前に、CTL ファイルをロック解除する必要があります。この場合、ユーザが TFTP サーバ オプションの変更内容を保存するときに、電話機は CTL ファイルを削除します。		
	CTL ファイルについては、『Cisco Unified CallManager セキュリティ ガイド』を参照してください。		
Dynamic TFTP Server	電話機で使用されるダイナミック TFTP サーバ を表示します。	表示専用	(設定不可)
Default Router 1	電話機で使用されるデフォルト ルータ (Default	表示専用	(設定不可)
Default Router 2	Router 1) およびオプションのバックアップ ルータ(Default Router 2~ Default Router 5)を表示		
Default Router 3	します。		
Default Router 4			
Default Router 5			

オプション	説明	変更方法
DNS Server 1	電話機で使用されるプライマリ DNS(ドメイン	表示専用(設定不可)
DNS Server 2	ネーム システム) サーバ (DNS Server 1) およ びオプションのバックアップ DNS サーバ (DNS	
DNS Server 3	Server 2 ~ DNS Server 5) を表示します。	
DNS Server 4		
DNS Server 5		
Dynamic DNS Server 1	Cisco Unified CallManager 環境では、適用されません。	_
Dynamic DNS		
Server 2		
Operational VLAN ID	Cisco Catalyst スイッチ上で設定され、電話機が メンバとして含まれる補助 VLAN(バーチャル LAN)を表示します。	表示専用(設定不可)
	電話機で補助 VLAN が受信されていない場合、 このオプションには管理 VLAN が設定されま す。	
	補助 VLAN も管理 VLAN も設定されていない 場合、このオプションはブランクです。	
Admin.VLAN ID	電話機がメンバとして含まれる管理 VLAN を表示します。 電話機が補助 VLAN をスイッチから受信しない	1. Admin.VLAN ID オプション までスクロールし、Edit ソフ トキーを押して、新しい管理 VLAN 設定を入力します。
	場合にのみ使用されます。スイッチから取得している場合、このオプションは無視されます。	2. Accept ソフトキーを押して、 Save ソフトキーを押します。

オプション	説明	変更方法
CallManager 1	この電話機からのコール処理に使用できる	表示専用(設定不可)
CallManager 2	Cisco Unified CallManager サーバを、優先度の高い順に表示します。	
CallManager 3	詳細については、P.4-14の「Cisco Unified	
CallManager 4	CallManager オプション」を参照してください。	
CallManager 5		
Network Media Type	ネットワーク ポート (電話機上で 10/100 SW の ラベル付き) の速度と全二重 / 半二重の設定を 表示します。有効な値は次のとおりです。	表示専用(設定不可)
	Auto: 自動ネゴシエーション	
	Full100:100-BaseT/ 全二重	
	Half100:100-BaseT/半二重	
	Full10:10-BaseT/全二重	
	Half10f: 10-BaseT/ 半二重	
	電話機がスイッチに接続されている場合、スイッチのポートは電話機と同じ速度および全二重/半二重の設定にする必要があります。またはいずれも自動ネゴシエーションに設定します。	

オプション	説明	変更方法
Network Port 2 Device Type	アクセス ポート (電話機上で 10/100 PC のラベル付き) に接続されるデバイスのタイプを表示します。有効な値は次のとおりです。 Hub/Switch:ネットワークまたはスイッチに使用	表示専用(設定不可)
	PC: PC に使用	
	(注) このオプションの値が PC である場合、ポートは PC だけに接続できます。デバイスが不明な場合は、Hub/Switch という値を使用してください。PC という値を指定してから、ポートにスイッチを接続すると、スパニングツリーのループやネットワークの混乱が生じます。	
DHCP Enabled	電話機で DHCP が使用されているかどうかを表示します。	表示専用(設定不可)
DHCP Address Released	DHCP で割り当てられた IP アドレスを解放します。	表示専用(設定不可)
Alternate TFTP	電話機で代替 TFTP サーバを使用しているかどうかを表示します。このオプションを Yes に設定した場合、TFTP Server 1 の値を入力する必要があります。	表示専用(設定不可)
Erase Configuration	Network Configuration メニューの設定 (パスワードを含む)、Device Configuration メニューの設定、音量の設定、およびコントラストの設定をデフォルト値に変更します。	表示専用(設定不可)
HTTP Proxy Addr	Cisco Unified CallManager 環境では、適用されません。	

表 4-2	Network	Configuration	メニューのオ	⁻ プション	(続き)
-------	---------	---------------	--------	-------------------	------

オプション	説明	変更方法
HTTP Proxy Port	Cisco Unified CallManager 環境では、適用されま	_
	せん。	
GARP Enabled	電話機が Gratuitous Address Resolution Protocol	変更するには、Cisco Unified
	(ARP) から MAC アドレスを取得するかどうか	CallManager を使用します。
	を表示します。電話機が Gratuitous ARP を受信	
	する機能を無効にすると、この仕組みを使って	
	ボイスストリームのモニタおよび記録を行うア	
	プリケーションが機能しなくなります。音声の	
	モニタが不要な場合は、このオプションを No	
	(無効) に設定します。	

Cisco Unified CallManager オプション

Network Configuration メニューの CallManager $1 \sim \text{CallManager } 5$ の各オプションには、電話機を登録できる Cisco Unified CallManager サーバのホスト名または IP アドレスが、優先度の高い順に表示されます。また、Cisco Unified CallManager の限定機能を提供できる SRST ルータが使用可能な場合には、その IP アドレスも表示されることがあります。

使用可能なサーバごとに、Cisco Unified CallManager サーバの IP アドレスと次の 状態のいずれかが表示されます。

- Active:電話機が現在コール処理サービスを受けている Cisco Unified CallManager サーバ。
- Standby:現在のサーバがダウンした場合に、電話機が切り替える Cisco Unified CallManager サーバ。
- Blank:この Cisco Unified CallManager サーバへの接続は現在ありません。
- このオプションには、次の指定が1つ以上含まれる場合もあります。
- SRST: Survivable Remote Site Telephony (SRST) の指定を示しています。この指定は、Cisco Unified CallManager の限定機能セットを提供できる SRST ルータを示しています。他のすべての Cisco Unified CallManager サーバが到達不能になった場合に、このルータがコール処理の制御を行います。SRST の Cisco Unified CallManager は、アクティブな状態であっても、常にサーバリストの最後に表示されます。



(注)

SRST ルータへのフェールオーバー後、電話機は、その電話機を登録できる Cisco Unified CallManager サーバへのリンクをモニタします。サーバがデフォルトで 2 分間使用可能になっている場合、電話機はルータからそのサーバにフォールバックします。このデフォルトの時間を変更するには、Cisco Unified CallManager の管理ページで、Connection Monitor Duration パラメータに別の値を指定します。詳細については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

• TFTP の指定: 設定ファイルに記述されている Cisco Unified CallManager に電 話機が登録できないため、代わりに TFTP サーバに登録されたことを示しています。

関連項目

- 設定メニューの表示 (P.4-3)
- オプションのロックとロック解除(P.4-4)
- 設定値の編集 (P.4-6)
- Network Configuration オプションの概要 (P.4-7)

SIP Configuration メニュー

SIP Configuration メニューでは、電話機上の設定可能な回線パラメータおよび SIP パラメータに関連する情報が表示されます。

SIP Configuration メニューの表示方法については、P.4-3 の「設定メニューの表示」を参照してください。

このメニューのオプションを変更する前に、オプションのロックを解除しておく必要があります。詳細については、P.4-4の「オプションのロックとロック解除」を参照してください。オプションのロックが解除されている場合に限り、設定オプションを変更するための Edit、Yes、または No というソフトキーが Cisco Unified IP Phone 7960G/7940G に表示されます。

オプションの編集に使用できるキーについては、P.4-6の「設定値の編集」を参照してください。

表 4-3 では、SIP Configuration メニューのオプションとその変更方法(可能な場合)について説明しています。

表 4-3 SIP Configuration メニューのオプション

オプション	説明	変更方法
Line x Settings	特定の回線の Line Configuration メニューを表示します。詳細については、P.4-20 の「Line Configuration メニュー」を参照してください。	
Messages URI	電話機でメッセージ サービスの取得 元となるサーバの URL を表示しま す。	変更するには、Cisco Unified CallManager を使用します。
Preferred Codec	コールの開始時に使用されるコーデックを表示します。 有効な値は、none、g711ulaw、g711alaw、 および g729a です。	 Preferred Codec オプションまでスクロールし、必要なコーデックが表示されるまで Change ソフトキーを押します。 Save ソフトキーを押します。

表 4-3 SIP Configuration メニューのオプション(続き)

オプション	説明	変見	更方法
Out of Band DTMF	アウトオブバンド シグナリングの設定を表示します(ゲートウェイの IP 側でのトーン検出用)。Cisco Unified IP Phone (SIP) は、AVT トーン方式を使用するアウトオブバンド シグナリングをサポートしています。		Out of Band DTMF オプションまでスクロールし、必要な値が表示されるまで Change ソフトキーを押します。
	有効な値は、none、avt、および avt_always です。		
Register with Proxy	Cisco Unified CallManager 環境では、適用されません。	_	
Register Expires	登録要求が期限切れになるまでの時間(秒数)を表示します。	表示	示専用(設定不可)
TFTP Directory	TFTP サーバの IP アドレスを表示します。	1.	TFTP Directory オプションまでスクロールし、Edit ソフトキーを押して、必要な値を入力します。
		2.	Accept ソフトキーを押します。
		3.	Save ソフトキーを押します。
Phone Label	電話機の LCD の右上にある状況表示 行に示されるテキストを表示します。 このテキストは、エンドユーザの表示 専用で、発信者 ID やメッセージング には影響を及ぼしません。		更するには、Cisco Unified CallManager 吏用します。
Enable VAD	Voice Activation Detection (VAD) が有効化どうかを表示します。	1.	Enable VAD オプションまでスクロールし、Yes ソフトキーまたは No ソフトキーを押して、設定を変更します。
		2.	Save ソフトキーを押します。
VOIP Control Port	SIP メッセージに使用される UDP ポートを表示します。	1.	VOIP Control Port オプションまでスクロールし、 Edit ソフトキーを押して、必要な値を入力します。
		1	
		2.	Accept ソフトキーを押します。

表 4-3 SIP Configuration メニューのオプション(続き)

オプション	説明	変更方法		
Start Media Port	メディアの Real-Time Transport Protocol (RTP; リアルタイム転送プロ トコル) 範囲の始まりを表示します。	1.	Start Media Port オプションまでスクロールし、Edit ソフトキーを押して、必要な値を入力します。	
		2.	Accept ソフトキーを押します。	
		3.	Save ソフトキーを押します。	
End Media Port	メディアのリアルタイム転送プロト コル (RTP) 範囲の終わりを表示しま す。	1.	End Media Port オプションまでスクロールし、Edit ソフトキーを押して、必要な値を入力します。	
		2.	Accept ソフトキーを押します。	
		3.	Save ソフトキーを押します。	
Backup Proxy	Cisco Unified CallManager 環境では、適用されません。	_		
Backup Proxy Port	Cisco Unified CallManager 環境では、適用されません。	_		
Emergency Proxy	Cisco Unified CallManager 環境では、適用されません。			
Emergency Proxy Port	Cisco Unified CallManager 環境では、適用されません。			
Outbound Proxy	Cisco Unified CallManager 環境では、適用されません。			
Outbound Proxy Port	Cisco Unified CallManager 環境では、適用されません。			
NAT Enabled	Network Address Translation (NAT; ネットワーク アドレス変換) が有効かどうかを表示します。		NAT Enabled オプションまでスクロールし、Yes ソフトキーまたは No ソフトキーを押して、設定を変更します。	
		2.	Save ソフトキーを押します。	

表 4-3 SIP Configuration メニューのオプション(続き)

オプション	説明	変	更方法
NAT Address	NAT サーバまたはファイアウォール サーバの WAN IP アドレスを表示しま す。	1.	NAT Address オプションまでスクロールし、Edit ソフトキーを押して、必要な IP アドレスを入力します。
		2.	Accept ソフトキーを押します。
		3.	Save ソフトキーを押します。
Call Statistics	電話機でコールの統計が有効かどう かを表示します。	1.	Call Statistics オプションまでスクロールし、 Yes ソフトキーまたは No ソフトキーを押して、設定を変更します。
		2.	Save ソフトキーを押します。

Line Configuration メニュー

Line Configuration メニューでは、電話機の回線に設定できるパラメータ関連の情報が表示されます。このメニューにアクセスするには、SIP Configuration メニューから適切な Line x Settings オプションを選択します。詳細については、P.4-16 の「SIP Configuration メニュー」を参照してください。

表 4-4 では、Line Configuration メニューのオプションについて説明しています。

表 4-4 Line Configuration メニューのオプション

オプション	説明	変更方法
Name	登録時に回線が使用する番号、ユーザ名、また	変更するには、Cisco Unified
	は SIP URI を表示します。	CallManager を使用します。
Short Name	回線に設定されているショート名を表示しま	変更するには、Cisco Unified
	す。	CallManager を使用します。
Authentication Name	初期化時にプロキシ サーバによって登録が要求	変更するには、Cisco Unified
	される場合、電話機が認証に使用する名前を表	CallManager を使用します。
	示します。	
Authentication Password	初期化時にプロキシ サーバによって登録が要求	変更するには、Cisco Unified
	される場合、電話機が認証に使用するパスワー	CallManager を使用します。
	ドを表示します。	
Display Name	電話機が発信者 ID の表示に使用する ID を示し	変更するには、Cisco Unified
	ます。	CallManager を使用します。
Proxy Address	Cisco Unified CallManager 環境では、適用されま	_
	せん。	
Proxy Port	Cisco Unified CallManager 環境では、適用されま	_
	せん。	

Localization メニュー

Localization メニューでは、電話機に設定されている時刻、日付、時間帯、およびオプションのパラメータに関する情報が表示されます。このメニューから、SNTP 設定にアクセスすることもできます。

Localization メニューの表示方法については、P.4-3 の「設定メニューの表示」を 参照してください。

このメニューのオプションを変更する前に、オプションのロックを解除しておく必要があります。詳細については、P.4-4の「オプションのロックとロック解除」を参照してください。オプションのロックが解除されている場合に限り、ネットワークの設定オプションを変更するための **Edit、Yes**、または **No** というソフトキーが Cisco Unified IP Phone 7960G/7940G に表示されます。

オプションの編集に使用できるキーについては、P.4-6の「設定値の編集」を参照してください。

表 4-5 では、Localization メニューのオプションとその変更方法(可能な場合)について説明しています。

表 4-5 Localization メニューのオプション

オプション	説明	変更方法
Time format 24hr	電話機に設定されている時刻の形式を表示します。	変更するには、Cisco Unified
	Yes に設定されている場合、24 時間形式で電話機に	CallManager を使用します。
	時刻が表示されます。No に設定されている場合、12	
	時間形式で電話機に時刻が表示されます。	
Date format	電話機に設定されている日付の形式を表示します。	変更するには、Cisco Unified
	有効な値は、M/D/Y、D/M/Y、Y/M/D、Y/D/M、Y-M-D、 および YY-M-D です。	CallManager を使用します。
Time zone	電話機に設定されている時間帯を表示します。	変更するには、Cisco Unified
	この値を変更すると、ソフトキーの上の行に新しい 値の説明が表示されます。	CallManager を使用します。
Language	電話機に設定されている言語を表示します。	変更するには、Cisco Unified
		CallManager を使用します。
	(注) この電話機は、英語だけをサポートしています。	
SNTP Settings	SNTP Configuration メニューを表示します。詳細につ	変更するには、Cisco Unified
	いては、P.4-23 の「SNTP Configuration メニュー」を	CallManager を使用します。
	参照してください。	

SNTP Configuration メニュー

SNTP Configuration メニューでは、電話機の Simple Network Time Protocol (SNTP; 簡易ネットワーク タイム プロトコル) に関する情報が表示されます。このメニューにアクセスするには、Localization メニューから SNTP Settings オプションを選択します。詳細については、P.4-21 の「Localization メニュー」を参照してください。

表 4-6 では、SNTP Configuration メニューのオプションについて説明しています。

表 4-6 SNTP Configuration メニューのオプション

オプション	説明	変更方法
SNTP Server	電話機で使用される SNTP サーバの IP アドレス を表示します。	変更するには、Cisco Unified CallManager を使用します。
SNTP Mode	電話機で使用される SNTP モードを表示します。 有効な値は次のとおりです。	1. SNTP Mode オプションまでスクロールし、必要なモードが表示されるまで Change ソフトキーを押します。
	• Unicast:電話機が、設定済みの SNTP サーバから SNTP データを取得します。	2. Save ソフトキーを押します。
	• Multicast:電話機が、複数のサーバから SNTP データを取得します。	
	• Anycast:電話機が、応答した任意の SNTP サーバから SNTP データを取得します。	
	• DirectedBroadcast:電話機がネットワークに ブロードキャスト要求を送信し、応答した サーバから取得した SNTP 値を使用します。	
DST Auto Adjust	電話機に表示される時刻が自動的に夏時間に調整されるかどうかを表示します (YES またはNO)。	1. DST Auto Adjust オプションまでスクロールし、Yes ソフトキーまたは No ソフトキーを押して、設定を変更します。
		2. Save ソフトキーを押します。

XML URLs メニュー

XML URLs メニューでは、電話機でさまざまな情報の取得元となるサーバの URL が表示されます。

XML URLs メニューの表示方法については、P.4-3 の「設定メニューの表示」を 参照してください。

表 4-7 では、XML Services Configuration メニューのオプションについて説明しています。

表 4-7 XML URLs メニューのオプション

オプション	説明	変更方法
Services URL	Select ソフトキーを押すと、電話機で Cisco Unified	
	IP Phone サービスの取得元となるサーバの URL が	CallManager を使用します。
	表示されます。	
Directories URL	Select ソフトキーを押すと、電話機でディレクトリ	変更するには、Cisco Unified
	情報の取得元となるサーバの URL が表示されます。	CallManager を使用します。

Security Configuration メニュー

Security Configuration メニューでは、電話機で使用される暗号化キーを設定できます。

Security Configuration メニューの表示方法については、P.4-3 の「設定メニューの表示」を参照してください。

設定キーを入力するには、次の手順を実行します。

手順

- **ステップ1** P.4-4 の「オプションのロックとロック解除」の説明に従って、オプションのロックを解除します。
- ステップ2 Security Configuration メニューで、Select ソフトキーを押します。
- ステップ3 新しい暗号化キーを入力します。

オプションの編集に使用できるキーについては、P.4-6 の「設定値の編集」を参照してください。また、暗号化キーを入力するときに、次のソフトキーを使用できます。

- **more**: 他のソフトキーを表示します。
- Clear: カーソルの位置から行末までのすべての文字を消去します。
- ステップ4 Accept ソフトキーを押します。

Security Configuration メニュー